

議会だより



10/14 秋季検閲（幼稚園消防クラブ）



◇初議会（第1回臨時会）、人事構成	2～3
◇19年度補正予算	4
◇議員退任あいさつ	5
◇第3回定例会内容	6
◇請願・陳情審査結果、議員提出議案	7
◇議会のうごき	8
◇編集後記	8

9月26日に臨時議会が開催される

議会の人事構成決まる

平成19年9月16日に行われた村議会議員選挙で当選した議員による初議会（第1回臨時議会）が、9月26日に開催されました。

議長選挙の結果、折笠三吉議員（7期）が議長に当選しました。副議長選挙の結果、吉田茂美議員（3期）が副議長に当選しました。また、会期を1日限りとし、議席の指定、各常任委員会の委員の選任などが行われ、新しい議会の構成が決まりました。

また、補正予算に関する議案3件、追加議案の人事案件2件を審議し原案のとおり可決しました。



議長
折笠三吉



副議長
吉田茂美

議員定数改正後、8人による初議会が開催された。

年長議員の水野谷薫議員が臨時議長となり議会を開会し、議長の選挙を行い、指名推選により折笠三吉議員を全会一致で選出した。

また、折笠議長の下、副議長の選挙を行い指名推選により吉田茂美議員を全会一致で選出した。

また、折笠議長の下、副議長の選挙を行い指名推選により吉田茂美議員を全会一致で選出した。

また、折笠議長の下、副議長の選挙を行い指名推選により吉田茂美議員を全会一致で選出した。

また、折笠議長の下、副議長の選挙を行い指名推選により吉田茂美議員を全会一致で選出した。

また、折笠議長の下、副議長の選挙を行い指名推選により吉田茂美議員を全会一致で選出した。

また、折笠議長の下、副議長の選挙を行い指名推選により吉田茂美議員を全会一致で選出した。

また、折笠議長の下、副議長の選挙を行い指名推選により吉田茂美議員を全会一致で選出した。

また、折笠議長の下、副議長の選挙を行い指名推選により吉田茂美議員を全会一致で選出した。

また、折笠議長の下、副議長の選挙を行い指名推選により吉田茂美議員を全会一致で選出した。

正副議長あいさつ

議長 折笠三吉
副議長 吉田茂美

去る9月26日の臨時議会において議員各位のご推挙により、中島村議会議長、副議長の重責を努めることになりました。身に余る光栄であり、責任の重さを痛感しているところであります。

議員定数削減の下、村議会議員の選挙が行われ、議会構成は大きく変化し、少数精鋭による議会運営が求められています。議会に寄せる村民の期待は極めて大きいと思います。

もとより微力ではありますが、公正公平を旨として、議会の円滑な運営に努め、村民の負託にこたえてその役割と使命を果たすよう、全力を尽くす覚悟です。皆さんの一層のご支援とご協力をお願いし、あいさついたします。

総務教育 常任委員会



委員長
加藤 幸一
大字川原田字下町93

総務教育常任委員会は、総務、税務、住民生活、保健福祉等の各課、会計室、選挙管理委員会、監査及び教育委員会に関する事務の調査、請願、陳情等の審査を行う。



副委員長
水野谷 博
大字滑津字元村193



委員
折笠 三吉
大字滑津字平名塚4



委員
藤田 利春
大字滑津字白ッ子36

産業建設 常任委員会



委員長
水野谷 薫
大字滑津字新田24

産業建設常任委員会は、産業建設課（産業振興・建設・上下水道・環境衛生）、農業委員会に関する事務の調査、請願、陳情等の審査を行う。



副委員長
鈴木 新平
大字松崎字松代3



委員
吉田 茂美
大字二子塚字西内51



委員
円谷 哲雄
大字滑津字二ツ山3

議会運営 委員会

議会運営委員会は、議会会期の決定、議事日程、議案の取扱い等の協議を行う。

- 委員長 藤田 利春
- 副委員長 円谷 哲雄
- 委員 鈴木 新平
- 委員 吉田 茂美

議会広報 編集委員会

議会広報編集委員会は、議会広報発行のための編集と調査研究を行う。

- 委員長 水野谷 博
- 副委員長 加藤 幸一
- 委員 鈴木 新平
- 委員 円谷 哲雄

一部事務組合等 議会議員選挙

臨時議会において、一部事務組合等の議会議員の選挙が行われ、それぞれ全会一致で選出した。

◇白河地方広域市町村圏整備
組合議会

議員 折笠 三吉

◇西白河地方衛生処理一部事
務組合議会

議員 折笠 三吉

◇白河地方水道用水供給企業
団議会

議員 水野谷 薫

新議員の紹介

この度の改選により、新議員となりました。
皆さんのご支援ご協力よろしくお願いたします。



☆鈴木新平

生年月日

昭和20年1月29日
(満62歳)

住所 大字松崎字松代3
職業 農業



☆円谷哲雄

生年月日

昭和24年6月19日
(満58歳)

住所 大字滑津字二ツ山3
職業 会社役員



☆水野谷博

生年月日

昭和24年8月14日
(満58歳)

住所 大字滑津字元村193
職業 農業



◇平成19年度国保特別会計補正予算（第1号）

既定予算額に71万8千円を追加し、歳入歳出それぞれ5億441万7千円と定めた。
歳出の主なものとしては、国庫支出金と療養給付費交付金の返還金として、76万円を増額した。

◇平成19年度介護保険特別会計補正予算（第1号）

既定予算額に86万3千円を追加し、歳入歳出それぞれ2億591万9千円と定めた。
歳出の主なものとしては、介護予防サービス等諸費に400万円、国庫支出金等返還金として481万円を増額した。

◆議決された 補正予算

◇平成19年度一般会計補正予算（第2号）

既定予算額に27万4千円を追加し、歳入歳出それぞれ24億964万8千円と定めた。
歳出の主なものとしては、障害者自立支援事務処理委託料等に367万円を増額した。



◆追加議案
(人事案件)

◎監査委員の選任について

村長から提出された、任期満了に伴う監査委員の選任同意案件について、全会一致で原案同意した。

◇識見を有する者

塩田 廣重

(大字滑津字滑津原11)



◇議会推薦

藤田 利春

(大字滑津字白ツ子36)



議員退任のあいさつ

私たちは、9月21日

をもちまして、議会議

員を退任いたしました。

在職中は、公私共に

格別のご厚情、ご支援

を賜り厚くお礼申し上

げます。

村民の方々のご健康

とご多幸をご祈念申し

上げ、退任のごあいさ

つといたします。

☆小針久雄



☆古内美之吉



☆近藤源三



☆畠山 實



☆小平和男



☆塩田廣重



☆高久重夫



◆平成18年度
歳入歳出決算
審査意見書



圓谷 佐 監査委員

村長から一般会計及び特別会計合わせて8会計の歳入歳出決算の認定に係る議案提出後、円谷監査委員から審査結果の意見報告があった。

「審査期間、平成19年8月1日～8月3日までの3日間、財政援助団体を含む各課所における決算を審査したところ、今年度も厳しい財政状況の中、それぞれの事務事業においては適正に執行されていると認める。」

なお、水野谷薫委員(議会推薦)・圓谷佐委員(学識)は、この度の任期満了に伴い、9月21日・10月2日に、それぞれ監査委員を退任した。

第3回定例会

平成19年第3回定例会は、9月3日から6日までの4日間の会期で開かれた。

審議案件は、地方公共団体の出資法人の経営状況を報告し、条例の一部改正2件、平成18年度決算8件を可決認定し閉会した。

◆出資法人の経営状況

地方自治法第243条の3第2項の規定により、中島村が出資している「株式会社童里夢なかじま」の事業及び決算について報告

- 《損益計算書》
- 売上高 699万3千円
- 売上原価 453万5千円
- 販売費及び一般管理費 264万1千円
- 営業外収益 43万5千円
- 経常利益 18万円

◆議決された条例関係

◇政治倫理の確立のための中島村長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例

郵政民営化法の施行および証券取引法が金融商品取引法に改題されることとなったことによる、「用語」の改正。

◇中島村税条例の一部を改正する条例
行政改革の一環として、個人村民税および固定資産税の納期前全納報奨金の限度額を3万円とする改正。

◆平成18年度決算認定

◇平成18年度中島村一般会計歳入歳出決算

- 歳入 20億4300万円
- 歳出 18億8179万2千円
- 差引額 1億6120万8千円

◇平成18年度中島村国民健康保険特別会計歳入歳出決算

- 歳入 5億4067万4千円
- 歳出 4億9766万2千円
- 差引額 4301万2千円

◇平成18年度中島村簡易水道特別会計歳入歳出決算

- 歳入 1億4780万円
- 歳出 1億3835万7千円
- 差引額 944万2千円

◇平成18年度中島村土地造成事業特別会計歳入歳出決算

- 歳入 2677万5千円
- 歳出 1千円
- 差引額 2677万3千円

◇平成18年度中島村老人保険特別会計歳入歳出決算

- 歳入 4億1141万7千円
- 歳出 4億1100万5千円
- 差引額 41万2千円

◇平成18年度中島村農業集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算

- 歳入 2億7538万7千円
- 歳出 2億6694万5千円
- 差引額 844万1千円

◇平成18年度中島村墓地特別会計歳入歳出決算

- 歳入
- 歳出

◇平成18年度中島村介護保険特別会計歳入歳出決算

- 歳入 226万8千円
- 歳出 20万3千円
- 差引額 206万5千円
- 歳入 2億828万円
- 歳出 1億8880万2千円
- 差引額 1947万7千円

傍聴においで下さい

12月議会は
12月14日(金)
開会予定です

請願・陳情 審査結果

総務教育常任委員会

委員長 近藤源三

★後期高齢者医療制度の施行に伴う諸問題の解決を求め
る意見書提出の陳情

陳情者

福島県南高齢者運動連絡会
会長 江口 皓也

◎趣旨

来年4月に75歳以上の後期高齢者を対象とした「後期高齢者医療制度」の施行に伴い、当事者の介護保険料と合わせた月1万円を超える保険料の負担、保険料滞納者への保険証の取り上げと資格証の発行、年齢による差別的な別立て診療報酬体系の導入計画など、



関係者を中心に制度や運営に
対し不安が高まっている。
よって、法成立の趣旨に則り、
高齢者がいつでもどこでも安心して医療が受けられる
制度になることを願い、後期
高齢者の生命と健康を守り、
人間としての尊厳を守りうる
制度運営の実現を求めるため、
意見書をもって広域連合に働
きかけを求める陳情。

◎審査の結果 採択

議員提出議案

最終日、追加提案として議
員提出議案3件が提案され、
審議の結果、それぞれ原案可
決された。

★中島村議会委員会条例の一
部を改正する条例

中島村議会の議員定数条例
および地方自治法第109条の改
正に伴う改正

★後期高齢者医療制度の施行
に伴う諸問題の解決を求め
る意見書

来年4月からの「後期高齢
者医療制度」が施行されるに、
税制の変更に伴う住民税・国
保税・介護保険料負担の増大
から、保険料滞納者への保険
証の取り上げと資格証の発行
により、受診機会が著しく狭
められるなど、強い不満と不
安が拡大している。これらの
諸問題の解決を求める意見書
を広域連合に提出する。



★道路特定財源の確保に関す
る意見書

道路特定財源については、
昨年道路特定財源の見直しに
関する具体策が閣議決定され、
今後、一般財源化を前提に所
要の改正が行われるが、道路
特定財源は、道路整備のため
の財源であり、道路整備以外
にあてることが到底容認でき
るものではなく、地方の道路
整備は未だ十分ではない。

今後とも地方の実態を勘案
した効率的な道路整備が重要
であり、安定的な財源確保が
不可欠であることから道路特
定財源の確保を求める意見書
を関係大臣に提出する。

折笠三吉議長

西白町村議会
議長会長退任

お疲れ様でした!



平成16年4月に西郡7町
村(後に表郷村・大信村・
東村が白河市と合併)のま
とめ役として会長に就任し
た折笠三吉議長は、この程
任期満了により、同会臨時
総会をもって「西郡の会長」
を退任した。

この間、議長は県町村議
会議長会長、全国町村議
議長会理事をはじめ、各種
団体の要職を務める傍ら、
西郡の代表として、また、
各町村議会との連携を図り
ながら、地方自治と地域振
興の推進にあたって、県及
び国等への積極的な提言・
要望活動を展開した。

この度の退任に当り、折
笠議長は、「3年6ヶ月そ
の責務を全うできたのは、
皆様のご支援とご協力の賜
物です。」と感謝の言葉を
述べた。

町村議会広報研修会開催される

平成19年度福島県町村議会広報研修会が郡山ユラックス熱海で開催された。広報コンサルタント・深沢徹先生による「実践的議会広報論」「議会広報クリニック」と題して、貴重な講演を得た。

- 講師曰く、①議会広報は、主権者住民に対する議会の報告書であり、住民と議会を結ぶ掛け橋である。
- ②議会広報の基本姿勢は、議員の自主編成、議事公開の徹底、住民参加である、と。



月日	事	項
8月	10日	・ 県後期高齢者医療広域連合運営会・定例会（福島）
	19日	・ 県民スポーツ大会県南大会
	20日	・ 白河地方広域市町村圏整備組合議会（白河）
	27日	・ 県町村議会正副議長・事務局長研修会（福島）
	29日	・ 議会運営委員会
	30日	・ 西白河地方衛生処理一部事務組合臨時議会（白河）
9月	3～6日	・ 白河地方水道用水供給企業団議会定例会（白河）
	26日	・ 第3回(9月)定例議会
	27日	・ 第1回臨時議会
	28日	・ 村敬老会
	29日	・ 交通安全・防犯パレード（吉子川小）
10月	4日	・ 幼稚園運動会
	5日	・ 西白市町村戦没者追悼式（白河）
	9日	・ 議長・副議長就任あいさつ（白河管内）
	10日	・ 西白町村議会議長会臨時会（白河）
	14日	・ 県町村議会広報研修会（郡山）
	17日	・ 村消防団秋の検閲
	19日	・ 白河中央IC建設促進期成同盟会総会（白河）
	20日	・ 福島県町村議会事務局長研修会（福島）
	26日	・ 中学校ききょう祭
	26日	・ 吉子川小マーチングバンド東北大会（仙台）
	28日	・ なかじまの里スポーツ祭り
	・ 村民マラソン大会	

議会の取り組み



編集後記

秋の収穫、そして紅葉と、季節は秋から冬へと移り行く中、9月の議会議員の改選で「議会だより」の編集を担当することとなりました。

私達広報編集委員4人は、「議会だより」の使命と役割を十分認識しながら、村民の皆様に分かりやすく、そして親しまれる広報紙づくりを目指し頑張っております。

今後のご支援ご協力よろしくお願い申し上げます。また、皆様のご意見・ご感想などお寄せいただければ幸いです。（番局長 水野谷）

